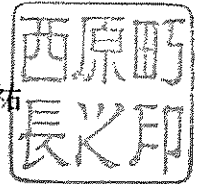




西 土 第 117 号
平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 殿

西原町長 新垣 正 祐



中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について

謹啓、時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素から、沖縄県の自立発展に日夜ご尽力いただき、また、本町発展に格別なご指導、ご協力を賜り心から厚く御礼申し上げます。

本町では、国道 3 2 9 号を中心に生活基盤が形成されており、また、那覇市・浦添市・宜野湾市に隣接する地域性から、朝夕には交通渋滞が慢性化しており生活環境の悪化と地域経済への損失等が懸念されております。

本町においては現在、中城港湾マリンタウンプロジェクトによる臨海部開発に取り組んでおり、「東崎」では、住宅・商業・工業用地等の分譲も進捗しており、現在では新たな住民の生活がスタートし、様々な商業及び工業が稼動するなど新たな住民生活や商工業の拠点地域として発展が期待されております。さらに海浜地区においては多目的広場や東崎公園、あがりティード公園等が整備、供用開始され、さらに、西原マリンパークが 4 月 2 8 日にオープンし、東海岸地域における、本格的海洋レジャー基地として多くの観光客や県民の憩いの場としての集客が見込まれております。

しかしながら、現在、マリンタウン地区へのアクセス道路は、国道 3 2 9 号から与那原側の「ゆめなり橋」と西原側のマリンタウン仮設道路からとなっており、その集客による交通渋滞が予想され、ますます交通事情が悪化するものと懸念いたしております。

そのことから本町におきましては、今後の中期的な計画策定を行う中で、以下の項目について意見書を提言させて頂きたいと思っております。

記

1. 交通拠点までのアクセス強化のための道路整備について

既存の国道 3 2 9 号は本島中南部を結ぶ交通要衝として、慢性的な交通渋滞を引き起こし、特に既成市街地（DID 地区）内での CO2 の発生による大気汚染、騒音等に

よる生活環境の悪化が懸念されております。

そのことから現在整備推進中の国道３２９号バイパスの早期完成と延伸の実現により、これら交通渋滞の一層の緩和が図られ、大気汚染や騒音等が解消され、生活環境対策が図られるものと推察されます。

また、交通拠点までのアクセス向上支援道路として、那覇空港や都心部からの西原マリンパークへの観光客の誘致を図り、地域活性化への起爆剤として一層の地域振興が期待されております。

２． 那覇都市圏の渋滞解消のための高規格、地域高規格道路整備などの幹線道路による環状道路、放射状道路ネットワークの形成について

本町には県内有数の製造出荷額を誇る小那覇工業専用地域、マリンタウン内工業地域がございますが、現国道３２９号から那覇都市圏への道路ネットワークが未整備なため、さらに慢性的な交通渋滞により、工業製品の流通に支障をきたしております。

そのことから、国道３２９号バイパスと連結する高規格道路、放射道路、環状道路等の早急な整備により、那覇都市圏への工業製品の流通距離・時間短縮による人、物、情報の交流が活発化し、産業、観光、地域振興に寄与するものと考えます。

３． 高速道路と鉄軌道とを結ぶ道路事業の促進について

自動車道とモノレール駅を連結する道路事業の促進と乗り継ぎができるミニバスターミナル・駅周辺広場（タクシー乗降、自家用乗降、駐輪場）レンタカーデポ、交通案内情報施設・道の駅機能・駐車場（パーク＆ライド）等の複合交通結節点の整備が不可欠であり、さらにハシゴ道路として連携する県道浦添西原線（整備中）と自動車道を結節することにより、幸地地区へのスマート IC の整備を図ることで効率の良い交通ネットワークの形成が期待できるものと確信致しております。

参 考 資 料

重点化を進める上で特に優先度の高い政策(西原町)

那覇都市圏の渋滞解消のため高規格、地域高規格道路整備などの幹線道路による環状道路、放射状道路ネットワークの形成

本町は都市圏に隣接しており、そのため中北部へのアクセスとして国道329号は重要な道路で、沿道沿いには既成市街地(DID地区)、大型商店施設、公共施設、県内有数の製造出荷額をほこる工業地域などがあるが慢性的な交通渋滞などを起こしている。

その解消を図るため、規格の高い道路、放射道路、環状道路と一体的に機能連動する国道329号バイパス等を早期完成・延伸することにより時間距離が短縮し、人、物、情報の交流が活発化するとともに、産業・観光振興・地域の活性化にもつながり、計画的な行動範囲の拡大、便利さにより楽しい住み良い住環境の確保が図れる。



しまたてい No.41
2007.April.P14抜粋



交通拠点までのアクセス強化のための道路整備

国道329号バイパスの早期完成と延伸

観光地へのアクセス向上支援

本町沿岸部には東崎公園、あがりティーダ公園等が整備供用開始され、さらに西原マリンパークが4月28日にオープンし、本格的なマリンレジャー施設として多くの観光客や県民のいこいの場としての集客が望まれています。慢性的な交通渋滞、交通拠点までのアクセス強化などの改善が強く求められます。

現在整備が進められている国道329号バイパスの早期完成、延伸をすることにより那覇空港や都心部より早く確実なアクセスにより、計画的でスムーズな到着ができ多くの集客が望まれる。

わかりやすい案内標識などの整備

地域活性化や物流のため都市や交通拠点を結ぶ道路整備

本町には国道329号バイパスの延伸上に、県内有数の製造品出荷額をほこる、小那覇専用地域、東崎工業団地、既設大型商店施設や計画などがあり、スピーディーに効率の良い輸送を行うことによりコスト(人件費・燃料費等)を大幅に削減、さらに空港や港へのアクセスがスムーズになり産業のさらなる発展が望める。

渋滞の対策

国道329号西原区間でも特に朝夕の通勤・通学時には渋滞が慢性化しており事故が多発しており、それらの解消が図られる。

大気汚染、CO2削減、騒音などへの環境対策

国道329号は既成市街地(DID地区)の中心を走り、縦断勾配があるため国道329号バイパス延伸により大きく解消できる。

高速道路と鉄軌道とを結ぶ道路事業の促進

定時定速の交通機関形成を図るためモノレールと高速道路の結節及び乗り継ぎサービス提供

高速バス・モノレール・路線バス・自動車の複合交通結節点整備及びミニバスターミナル・駅周辺広場(タクシー乗場、自家用車乗降場、駐輪場)・レンタカーデポ・交通案内情報施設の駅機能・駐車場(パーク&ライド)の整備

幸地地区へスマートICの整備

自動車道へのアクセス時間が短縮になり沖縄自動車道、那覇空港自動車道の有効活用が図られる。

ハシゴ道路県道浦添西原線(整備中)の自動車道との結節地点として交通ネットワークの構築



「ハシゴ道路」の構築 沖縄ブロック幹線道路協議会リーフレットより抜粋